令和8年度　江戸川区立葛西第三中学校『特別の教科　道徳』教育全体計画

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標

・よく学び、よく考える自主性のある中学生（自発）
・心身共に健康で礼儀正しい中学生（礼儀）
・規律と責任を重んじ、よく働く中学生（責任）

【地域の実情】
【学校の実情】
【子供の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

学校の道徳教育の重点目標

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に生きようとする道徳的実践意欲と態度を育成する。

各学年の指導の重点

第1学年
・自己の伸長と人間関係の充実

第2学年
・自分を見つめ互いの個性の尊重

第3学年
・人間としての生き方の自覚

各教科

国語
・言語活動を養い国語を愛する心を育てる。

社会
・我が国の郷土、歴史に愛情をもち公民的な資質の基礎を培う。

数学・
・数学的なものの見方考え方の良さを・生活に生かす態度を養う。

理科
・自然に対する関心を高め学ぶことを通して科学的な考え方を養う。

音楽
・表現、鑑賞を通して豊かな情操を養う。

美術
・表現、鑑賞を通して豊かな情操を養う。

技術・家庭
・生活と技術との関わりを通して、生活を工　夫する態度を養う。

保健体育
・運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

外国語
・外国の言葉や文化に関心をもち進んで交流する態度を養う。

読書科
・読書の価値を認識し、主体的に取り組み、社会の中で積極的に学び続けてい

補充・深化・統合

道徳の時間

各学年の重点内容項目

1年
思いやりの心をもちながら人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深める。

2年
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

3年
自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

指導方針
慈しみや思いやりの心を持ち、その場に相応しい行動のとれる生徒の育成を目指す。

指導の工夫
教科、領域との関連を図りながらこれらを補充、深化、統合していく。

補充・深化・統合

特別活動

学級活動
・日々の生活において言語活動の充実を目指し育てる。

生徒会活動
・社会の一員として生徒自ら学校を良くす　る意識を高めるよう育てる。

学校行事
・学校学年行事を通して望ましい集団活動の在り方を育てる。

総合的な学習の時間

・「共生」をテーマに現代課題である国際理解教育、情報、福祉、環境、健康などの他に、生き方や地域学習を通して豊かな道徳心を育む。

・チャレンジ・ザ・ドリーム等、実感できる体験活動を重視し、進んで学び、自分で考え、実践する態度を養う。

・地域や家庭と協力を図り、共に考え共感する姿勢のもとで道徳的な判断力や実践的な態度を育む。

生活指導
生徒理解を基本と位置づけ、多面的に捉え、迅速な情報交換で早期発見と対応を行う。

環境整備
言語環境を整え好ましい人間関係の確立を図る。また、差別のない豊かな人間感覚を育てる。

家庭・地域との連携
「学校・学年だより」等で生徒の生き方について情報提供を行い、生徒の支援体制を確立する。

推進体制
道徳教育推進教師が中心となって各学年との連絡・調整を図り、道徳教育の推進を図る。